

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月10日(土) Aブロック 2回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第1試合

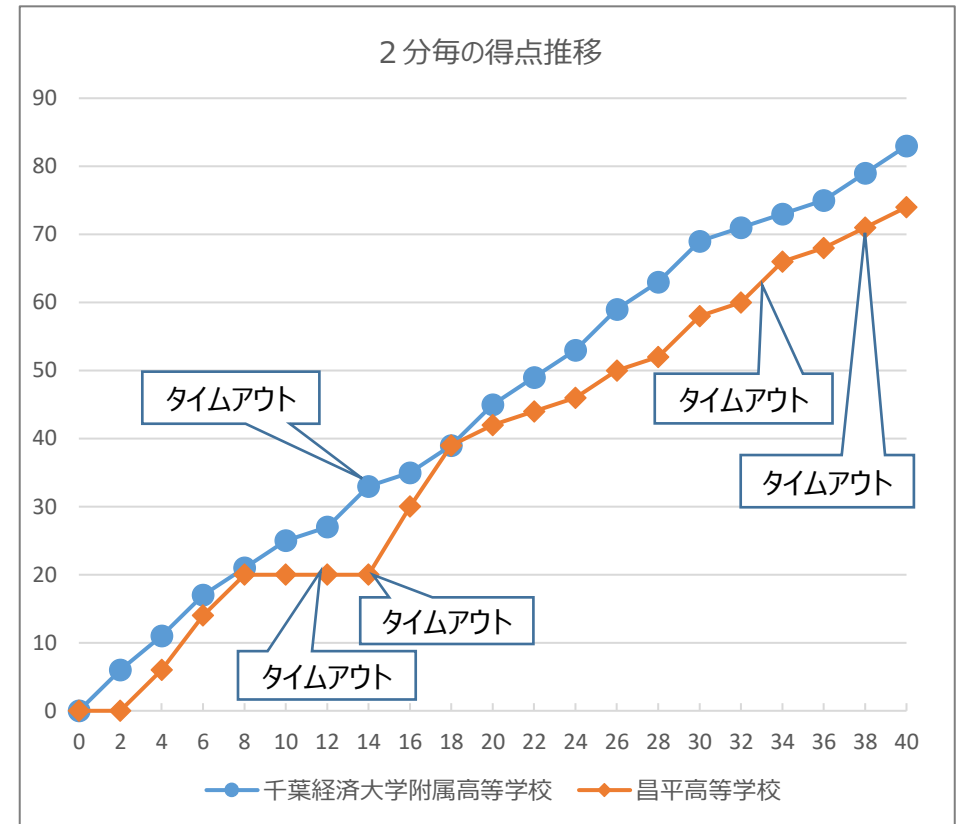
チームA	83	25 1st 20	74	チームB
千葉経済大学附属高等学校 (千葉県)		20 2nd 22		昌平高等学校 (埼玉県)
		24 3rd 16		
		14 4th 16		
		OT		

Aチーム： 千葉経済大学附属高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	角 陽菜多	42	0	0	20	34	2	3	1	2	7	9
2	*	5	坂口 彩花	23	0	1	10	26	3	9	1	5	8	13
3		6	栗山 明日香	4	0	0	2	2	0	0	3	0	0	0
4	*	7	牧野 琉依	8	0	1	3	10	2	2	2	1	3	4
5		8	横田 美颯											
6	*	9	高品 里桜	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0
7		10	三橋 美月											
8	*	11	メンディーシアラ	4	0	0	2	4	0	0	0	2	2	4
9		12	丸山 芽衣	2	0	0	1	4	0	0	1	1	2	3
10		13	今井 優希											
11		14	榎本 悠衣											
12		15	佐藤 未来											
13		16	田端 若菜											
14		17	安川 稀尋											
15		18	大西 佳南											
HC/TEAM				池端 直樹										
合計				83	0	3	38	82	7	14	9	11	22	33

Bチーム： 昌平高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
1		0	佐藤 佳凜												
2		3	荒川 さくら												
3	*	6	松本 早桃	10	2	6	2	3	0	0	1	0	2	2	
4		9	中村 夏鈴												
5		10	中村 美壘	20	2	4	7	9	0	0	2	0	6	6	
6		11	佐々木 美光	8	0	0	4	8	0	0	1	4	1	5	
7		17	戸田 ひかる												
8		19	板東 初季												
9	*	23	成田 心海	12	0	1	5	14	2	4	0	2	4	6	
10		42	竹内 幸葉	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
11		46	中山 乙葉	4	0	1	2	2	0	1	0	0	1	1	
12	*	62	原田 朱夏	11	0	0	5	8	1	2	3	3	4	7	
13	*	71	菊田 惟月	5	1	4	1	2	0	0	4	1	4	5	
14		88	林 愛	2	0	0	1	4	0	0	0	0	2	2	
15	*	93	稲葉 聖乃	2	0	1	1	8	0	2	3	0	0	0	
HC/TEAM				加藤 祐介											
合計				74	5	18	28	58	3	9	14	11	24	35	



戦評

記者：古屋 貴弘 (山梨県高体連)

1 Q、千経大附は#4のジャンプシュートで先制すると、激しいディフェンスからチャンスをつくる。昌平もスクリーンを上手く使いながら#62のドライブなどで得点を重ねる。その後は互いに点を取り合うが、25-20千経大附リードで1 Q終了。2 Q、互いに均衡する中、8:22昌平はタイムアウトをとりゾーンディフェンスに変更。千経大附は#11などが得点を重ね点差を2桁に広げ、6:00には、昌平が前半2回目のタイムアウト。その後、落ち着きを取り戻した昌平は#6の連続3 Pやレイアップで点差を1桁に戻すと、4:04千経大附がタイムアウト。しかし、昌平の勢いは止まらず#23のシュートなどで一時逆転するが、千経大附#5のブザービーターが決まり、45-42千経大附リードで2 Q終了。3 Q、互いにドライブから得点し主導権を奪い合う展開になるが、千経大附#4、#7の得点で頭一つ抜け出す。昌平も技術の高いピックアンドロールからの得点や、#10のジャンプシュートで加点。しかし、千経大附は徹底したゴール下でのプレーで点差を広げ、69-58千経大附リードで3 Q終了。4 Q、得点が動かない時間が続き、7:34昌平がタイムアウト。ここから昌平#10の連続3 P、#71のドライブで再び点差は1桁になり、昌平が流れを掴む。千経大附も#5の得点で流れを引き戻しに掛かったところ、2:28昌平がタイムアウト。昌平#11が果敢に攻め得点すれば、千経大附#6も決め返し一進一退の攻防になる。そのまま時間が経過し、互いに最後まで力を振り絞った戦いは83-74で千経大附が勝利した。

主審	第1副審	第2副審
富樫 彰子 (東京都)	穂川 苑子 (群馬県)	大木 裕一 (山梨県)